



いずみさき

平成23年
2月1日
発行

No. 7

議会だより

輝く未来の 子どもたちへ



泉崎第一小学校
学習発表会
H22. 11. 6 (土)



泉崎第二小学校
学習発表会
H22. 11. 6 (土)

目次

- 2～3 ページ…… 議会報告
- 4～5 ページ…… 議会活動インフォメーション
- 6 ページ…… 活動報告・編集後記



平成22年 第4回(12月) 泉崎村議会 定例会報告

*会期：平成22年11月30日
（12月7日(8日間)）

*提出議案等
・議案 16件
・議員発議 2件
（全議案原案可決）
*陳情等 2件(全件採択)



議決議案等

【議案第57号】職員給与に関する条例の一部を改正する条例

◇県人事委員会勧告に基づき、職員の給与及び期末・勤勉手当の支給に関して条例の一部を改正するもの

【議案第58号】村長、副村長の諸給与及び費用弁償額並びにその支給方法に関する条例の一部を改正する条例

◇村職員の期末手当支給率の改正に伴い村長、副村長の期末手当の支給率を改正するもの

【議案第59号】教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例

◇村職員の期末手当支給率の改正に伴い教育長の期末手当の支給率を改正するもの

【議案第60号】議会議員の議員報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

◇村職員の期末手当支給率

の改正に伴い議会議員の期末手当の支給率を改正するものです。

【議案第61号】平成22年度泉崎村一般会計補正予算(第三号)

◇歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ8億66万2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ44億1千897万2千円とするものです。

【議案第62号】平成22年度泉崎村国民健康保険特別会計補正予算(第二号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ5億30万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ7億3千5百46万円とするものです。

【議案第63号】平成22年度泉崎村老人保健特別会計補正予算(第三号)

◇歳入歳出予算の総額は変更せず、款項の区分ごとの金額を変更するものです。

【議案第64号】平成22年度泉崎村国民健康保険診療所特別会計補正予算(第二号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ23万

2千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ76万2千円とするものです。

【議案第65号】平成22年度泉崎村介護保険特別会計補正予算(第二号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9億81万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ3億8千5百9万5千円とするものです。

【議案第66号】平成22年度泉崎村農業集落排水処理事業特別会計補正予算(第二号)

◇既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ4億8千3百65万5千円とするものです。

【議案第67号】平成22年度泉崎村工業用地造成事業会計補正予算(第二号)

◇土地売却面積3万99.76㎡を2万5千2百83.79㎡に改め、予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を補正し、予算第4条の「不足する額」、「当年度損益

勘定留保資金」、「当年度利益剰余金処分額」の金額をそれぞれ改め、資本的支出の予定額を補正するものです。

【議案第68号】平成22年度泉崎村住宅用地造成事業会計補正予算(第二号)

◇予算第3条収益的収入及び支出の予定額を補正し、予算第6条に定めた経費の金額及び予算第7条中の金額を改めるものです。

【議案第69号】村有地の処分について

◇議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の既定に基づき、村有地の処分について議会の議決を求めるもの

【議案第70号】泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること

◇泉崎村固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、委員の選任の同意を求めるもの

(泉崎村大字泉崎)
古宇田 榮 増氏

【議案第71号】泉崎村固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること

◇泉崎村固定資産評価審査委員会委員の任期満了に伴い、委員の選任の同意を求めるもの

(泉崎村大字北平山)
穂積 養 重氏

【議案第72号】泉崎村教育委員会の委員の任命につき同意を求めること

◇泉崎村教育委員会の委員の任期満了に伴い、委員の任命について議会の同意を求めるもの

(泉崎村大字関和久)
山田 睦 子氏



議員発議

【発議第7号】肺炎球菌(23価ワクチン)への公費助成に関する意見書の提出について

提出者：小林凱男議員

【発議第8号】患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書の提出について

提出者：小林凱男議員

請願・陳情

【受理No.7】肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書

提出者 福島県保険医協会理事長

【受理No.8】

患者の窓口負担大幅軽減を求める意見書採択に関する陳情書

提出者 福島県保険医協会理事長



常任委員会報告

◎住民福祉常任委員会

平成22年11月30日(火)の12月定例会本会議において、住民福祉常任委員会に附託された陳情書2件について、役場会議室において委員会を開催し、審議を行いました。

「肺炎球菌ワクチンへの公費助成に関する陳情書」については、肺炎は主要死因の4位に位置し、高齢者の肺炎での死亡率が増加する傾向にあり、インフルエンザ罹患後の肺炎の要因に肺炎球菌が関与している可能性が高いとされており、

実際、インフルエンザワクチンと肺炎球菌ワクチンを併用接種することにより、高い有用性が報告されています。また、肺炎球菌ワクチン接種により肺炎の罹患を防ぎ、さらに高齢者の肺炎による死亡、入院を減少させ医療費を削減することが可能であると考えられることから採択と決しました。

また、「患者の窓口負担大

幅軽減を求める意見書採択に関する陳情書」については審議の結果、深刻な不況と働く人の3分の1が非正規職員という下で、医療費の窓口負担を払えない人、経済的理由で受診を控える人が増えている中で、治療中断、受診の手控えが増え、歯科分野でも受診抑制が顕著になっていきます。

このような中で、受診抑制が続けば、症状が悪化して取り返しのつかない事態になる心配があり、またこの状況を放置すれば多くの国民の健康維持に支障をきたすだけでなく、国民医療費の節減にも逆行することから、採択と決しました。

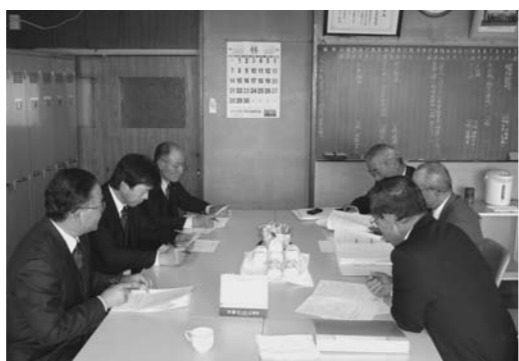
平成22年11月30日(火)

泉崎村役場会議室

住民福祉常任委員会

- 委員長 小林 凱男
- 副委員長 荻原 成嘉
- 委員 岡部 英夫
- 委員 鈴木 盛利
- 担当課長 住民生活課長
- 保健福祉課長

*住民福祉常任委員会で採択となった陳情書は、議定定例会最終日に議員発議として、提出され、審議・採択後、関係機関に送付し、その実現に向けて働きかけをします。



(住民福祉常任委員会)



◎ふくしま駅伝選手応援 平成22年11月21日(日)

* 議会議員一同は、ふくしま駅伝で村の部5連覇を、そして総合10位以内という上位入賞を目指し、各 구간を力走する選手たちの応援に駆け付けました。全区間で応援したい気持ちでしたが、交通事情の関係で、5ヶ所に絞り、上位で力走してくる選手に大きな声で、声援を送りました。

結果は、「村の部5連覇」、「村の部6回目の優勝」の快挙達成を帰りの車中で聞き、全員で喜びました。惜しくも総合10位には届きませんでした。県内に「泉崎村」を大きくPRできたと思います。これもひとえに選手一人一人の努力と関係各位の御協力のお陰と感謝申し上げます。



3区 泉崎村さつき公園



4区 鳥見山公園付近



15区 福島大学付近



11区 本宮市内



7区 郡山バイパス付近



「議会中継（録画）及び会議録検索システムが利用できます。」

* 会議の様子や会議の内容が記録されております。泉崎村のホームページからご覧ください。

泉崎村ホームページアドレス：<http://www.vill.izumizaki.fukushima.jp/>

～議会活動インフォメーション～

◎町村議会議員研修会 平成22年10月25日(月)

福島県町村議会議長の主催による「町村議会議員研修会」がビッグパレットふくしまにおいて、開催されました。

講師の北海学園大学教授の神原勝氏は「町村議会を活性化させる方策」と題し、「議会の果たすべき役割は何か」、「あらためて二元代表制を考える」、「議会改革と議会基本条例のあり方」など直接、議会に関わる内容でした。

また、時事通信社解説委員の田崎史郎氏は、「これからの政局・政治のゆくえ」と題し、現在の国の動向について話されました。



◎市町村議員講座 平成22年11月11日(木)

* 白河市東文化センターにおいて、アカデミア・コンソーシアムふくしまの主催による「戦略的大学連携支援事業プログラム」の一環として、東西白河地方市町村議会議員を対象に開催されました。

この戦略的大学連携支援事業は、文部科学省に採択された事業で福島県内にある16の大学、短大、高等専門学校が連携を図り、「教育連携」だけでなく「研究連携」及び「地域連携」を体系的に追求するとともに地方自治体や企業とも緊密な連携を取りながら、社会の期待に沿うことができるよう高等教育のさらなる発展を目指すものです。

講師の福島大学副学長の清水修二先生は「地域主権時代と地方財政」と題して講義されました。続いて「健康と運動～今日も！明日も！やきとりじいさん体操～」と題して、桜の聖母短期大学の岡田麻紀先生の講義を聞き、一旦外に出て、実技「やきとりじいさん体操」を参加者全員で体験しました。



福島大学副学長の清水修二先生



桜の聖母短期大学の岡田麻紀先生



「やきとりじいさん体操」を体験

